

# CORAL REEF

## CONTENTS—

★What color is future?

★CORAL × Natee project

★大丈夫だよ。

★2025 カレンダー & 手帳!!

# Vol.11



CORAL REEF Vol.11

発行元 社会福祉法人ラフト コーラル

〒274-0065 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 滋朗

2024年12月31日 発行

## What color is future?

コーラル管理者 土屋滋朗

毎年この時期になると、否が応でも一年を振り返るようになります。今年はどんな年だったでしょうか？6月、それまでのアイルとコーラルが一体化したことは、利用者さんにも職員にも、とても大きな出来事だったと思います。結果として、たくさんの変化が刺激となり、新鮮な活力となった一方で、小さなものから大きなものまで、数え出したらキリがないほど毎日がトラブルの連続だったことも、事実として否定はできません。利用者さん同士の諍いや職員の業務ミスなどにより、不快な思いをさせてしまった方もいらっしゃるかもしれません。この場を借りて、あらためてお詫びいたします。

冒頭から反省で始まってしまいましたが、コーラルはいつだって前を向き、未来にひらかれた場所でありたいと、ずっと思ってきました。お店でもなんでもそうですが、場所を作るということは、ただ箱モノを用意すればいいというわけではありません。その場所を中心に、引力が生まれ、人や物が集まること。それはある意味では、奇跡のようなことだと思います。そして、世界にたった一人でも、その場所を必要とする人がいたら、そこに価値が生まれるのだと。

コーラルという場所はひとつでも、そこに集う人たち一人ひとりにとって、コーラルの持つ意味は異なります。だからこそ、さまざまな刺激が生まれ、それぞれが影響し合い、時に引力の中心に近づいたり離れたりしながら、この一年でコーラルは目まぐるしく変化しました。ひとつのボールがいろんな色で塗り重ねられ、少しずつ体積も大きくなり、もともとの色が何色だったかなんてみんなとっくに忘れていて、そんなイメージ。

コーラルが場所としての機能を果たしているのなら、そこに色を塗り、意味を付加していくのはみなさん一人ひとりの手によるものです。未来にひらかれるとは、どんな色に塗ってもいいし、どんな意味を付け加えてもいい、まずはその自由を担保することだと思っています。

反省だって、未来に活かさなければなんの意味もありません。間違っちゃって、失敗しちゃって、ちょっと止まってまた前を向く。うまくいかなかったら、ちがう色で塗ればいい。だってこれからも、人生は続いていくんだもの。

今年の年末は、そんなモードです(笑)。ではみなさん、良いお年を!こんなコーラルですが、来年もどうぞよろしくお願いいたします!

## CORAL x Natee project



2024年夏、ひっそり進行していた国際プロジェクト!?

ひっそりすぎて全然宣伝できていませんでしたが、とっても可愛い商品たちがコーラルショップに入荷しています!

コーラルに通う利用者さんたちが描いた作品を布地にプリントし、タイに住むNatee (ナティ) さんの手で一つひとつ丁寧に縫製しました。

普段使いからちょっとしたプレゼントまで、この機会にぜひお求めください!



トートバッグ (360×285mm) ¥1,600



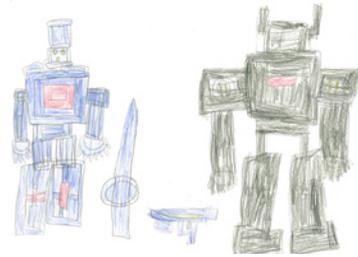
ポーチ (170×235mm) ¥1,800

※コミュニティカフェひなたぼっこ(船橋市本町4-31-23)でもお取り扱いしています!



NISHIYAMA KAZUKI  
**西山和樹**

車やバイク、ロボット、勇者が持っているような武器、カブトムシやクワガタを題材にした絵の制作や、チラシの工作が得意です。



コーラルメンバーたちの  
**Episode 03**  
**「大丈夫だよ。」**

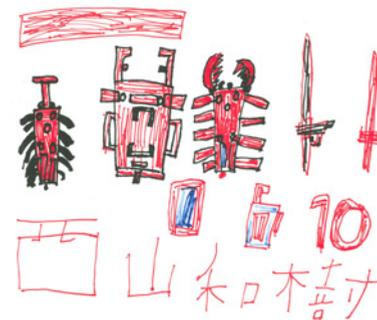
大丸がコーラルに働き始めたばかりの頃。

ある日、私は一人で朝送迎をデビューすることになった。まだなれない地域だったこともあり、事前にルートを地図や現場でも繰り返し確認し、緊張しつつ当日を迎えた。一番初めにお迎えに行ったのは、グループホームで暮らす西山さんだった。

西山さんは今でこそ、気軽に話しかけて下さるようになったが、当時はまだ、お互いに遠慮している空気感があった。「おはようございます。」とまず西山さんを車にご案内をした。すると小さな達成感がじんわりと湧いてきた。「この調子でいこう！」と内心気合いをいれつつ、次の利用者様の元へ向かい発車をした。

しかし、いつの間にか道を間違えてしまい、わかる道まで出てみれば渋滞にはまり、予定の時間を大きく過ぎてしまった。そして、一番最初にお乗せした西山さんを、長時間連れ回すことになってしまった。その後、なんとか他の方もお迎えができ、コーラルまでお送りすることができた。私は登所頂くときに改めて、お一人ずつ謝罪をさせて頂いた。一番最後に車を降りたのは西山さんだった。

「西山さん、お時間が掛かってしまって、申し訳ありませんでした。」と、ご迷惑を掛けてしまったことと、失敗してしまったことで気持ちをぐるぐるさせながら私は謝罪をした。すると西山さんは、静かながらも温かく「大丈夫だよ。」と言って、玄関へ向かっていった。たった一言だったけれど、西山さんからもらった「大丈夫だよ。」は、落ち込んだ気持ちでいっぱいだった私の、その日の心の支えとなった。今でも、元気を失いそうなときは、西山さんの「大丈夫だよ。」をふと思い出す。





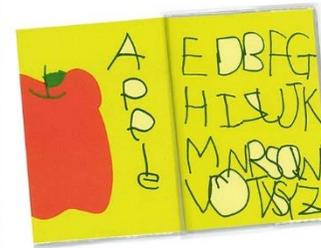
A4size ¥1000

2025年カレンダー 絶賛販売中~!

# CORAL 2025 CALENDAR

Artist: Takuya Kuniyoshi Yuichiro Aoki  
 Haru Yuasa Shinya Fujita  
 Takuto Nakano Mie Sakamoto  
 Yukiko Miyazaki Keita Akashi  
 Akihiro Takahashi Takako Kusaka  
 Kouhei Takeda Seiki Kusumoto  
 (January~December)

Font: Yui Nakajima



① Apple  
©Haruka Otaki

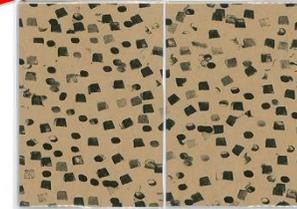


② Cars  
©Kouhei Takeda



しおりが付いてくるよ~!  
柄はランダムです。

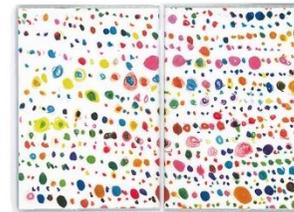
手帳は在庫わずか!



③ けしごむはんこ  
©Minami Otake



④ さしこ  
©Yuhei Ito



⑤ みずたま  
©Ayano Kita



⑥ ビジネスマン  
©Takuya Kuniyoshi

SCHEDULE  
NOTE

A6size ¥500

1 2025 January		WED	THU
MON	TUE	1 祝	2
		8	9
6	7		1